

「登山指導スキルアップキャンプ」

★事業の概要★

事業のねらい

教職員をはじめとする青少年教育指導者が、登山指導における基本的な知識・技能を学び、安全な登山活動を実施できるよう指導者としてのスキルアップを図る。

期 日

平成22年6月25日（金）～27日（日） <2泊3日>

会 場

国立大雪青少年交流の家
十勝岳連峰

対 象 者

学校教職員 青少年教育施設職員
将来青少年教育指導者を志す大学生など

参加者数：参加募集人数

9名：20名
(内訳：教員4人、大学生1人、教育関係者3人、一般1名)

講 師

戸 高 雅 史 氏（野外学校 Feel Our Soul 主宰）
国立大雪青少年交流の家職員

日 程

	〈午 前〉		〈午 後〉			〈夜〉		
6/25 (金)				受付	夕食	開講式	プログラム① 講演「登山の 魅力とは」	プログラム② 講義「登山の 準備」
6/26 (土)	朝食	プログラム③「登山指導」 (望岳台～十勝岳スリバチ火口～望岳台)			入浴	夕食	プログラム④ 講義 「安全管理の観点からすべきこと」	
6/27 (日)	朝食	プログラム⑤ 「考えられる リスク」	プログラム⑥ 「ふりかえり」	閉講式	解散			

★プログラム紹介★



①講演「登山の魅力とは」

講師に野外学校 FeelOurSoul 主宰の戸高雅史氏を招き、自身の体験をもとにした登山の魅力をお話しいただきました。



②講義「登山の準備」

登山の手引きをテキストにして、登山に必要な装備の基礎知識について学びました。



③実習「登山指導」

戸高氏を講師として、実際に十勝岳の登山コースを歩き、歩行ペースや休憩のタイミングなどを学びました。



④実習「登山指導」

戸高氏には、登山の知識や技術だけでなく、登山の楽しみ方についても教えていただきました。



⑤講義「安全管理の観点からすべきこと」

登山に関する安全管理のポイントについて、実際の事故例をもとにしながら学びました。



⑥演習「登山で考えられるリスク」

児童生徒を引率した際に起こりうるリスクを洗い出し、それに対する対処法をグループで話し合いました。

企画・運営のポイント

- ① 近年の登山事故を鑑み、登山初心者でも理解できるよう、基礎的な知識や技術について学ぶ時間を確保した。また、できる限り現物を用いるなど内容の工夫をした。
- ② 学校登山のように、児童生徒を引率して登山をする際に起こりうるリスクに焦点を当ててプログラムを組み立てた。
- ③ 登山指導の知識や技術だけでなく、登山の楽しみ方を知り、それを児童生徒に伝えられるような内容になるよう心がけた。

事業を終えて（成果と課題）

- ① 登山の安全管理について重点的にプログラムを組んだことで、より細やかな観点で考えたり、議論したりすることができた。また、実際に登山を行い、そこでの経験をもとにグループワークをすることで、より実践的な話し合いになった。
- ② 「登山の楽しさを指導者自身が体験する」という視点で講師の講演や実習をプログラムした結果、参加者はそれぞれ登山の楽しみ方を見いだすことができた。
- ③ 教員をはじめとする指導者の参加が少なかったことから、日程や内容などを見直し、より多くの参加が見込めるように工夫する必要がある。